

中国・浙江省から安徽省へ

ばとうがき

空にそびえる馬頭墙

第9号

蒲田風箏



すばる

発行所
株式会社
東京都大田区蒲田1-8-12
電話 03(5703)7575
発行人 小原秀之
印刷所 宮田印刷

桃源民居
卯建林立
人牛耕田
路地迷宮
徽州古鎮春雷賦



安徽省の馬頭墙（ばとうがき）のある古い村。白い漆喰壁に黒い瓦の波が折り重なるようにして美しい。明時代や清時代の家々には変わらず人が住み、周辺は長閑な田園風景が広がる。村の中の路地は迷路のようで、細かく入り組み外敵の侵入に対して備えがあるのは、長い中国の歴史からすれば当然である。かつては徽商と呼ばれて各地へ商売に出向き、財を成してふる里に立派な馬頭墙と呼ぶ卯建（うだつ）のある家を建てたたのだった。安徽省にはこのような村や町がたくさん残されている。古き良き中国の姿もいつまでのものか

中国はとてもつもなく広い。そして言うまでもなく人口は十三億という世界一、二の高密度。地球上の五人に一人は中国人というわけだ。二十二省、四直辖市（北京、天津、上海、重慶）五つの自治区に五十六の少数民族がある。

そして歴史の長さ、深さ、スケールの大きさは世界屈指のもので、私たちの想像をはるかに上回る。

現代中国の躍進ぶりは、今年になって自動車の生産台数はアメリカを抜き、日本

本人の北米大陸在留人口よりも中国在留数のほうが上回ったとの報道からも伺える。二十世紀はアメリカの時代だったが、二十一世紀は間違いなく中国の時代となり、世界は中国を核として多極化していくことになるだろう。

中国を知ることは二十一世紀のこれから世界を占うことである。それは歴史を理解し、風土を訪ねることである。幸いにも中国は

日本は歴史的に中国をお手本としながらも独自の文化をつくってきた。間違なく日本文化のルーツの大元である。共通性と差異を認識し、すでに経済的には

太い縛で結ばれていることから文化的にも相互理解の新しい時代に入った。

中国沿海部の大都市の変貌ぶりは、この二十年で異常ともいえるほどの発展に明らかだが、そうした急速な経済成長には光と影がつ



安徽省歙（きゆう）県の古城門。城内は広く周囲は高さ十メートル余りの城壁に囲まれている。現在、城壁の残る町は平遥をはじめ五指に満たない

きものだ。貧富の格差は大きくなり、都市部と農村の経済格差はますます広がり、自然破壊と環境破壊、公害などの社会状況はかつて日本も経験したことである。

しかし、中国は余りにも広いだけに内陸に入ると、昔ながらの風情と人々の暮らしを見ることができる。それは、観光地や都市部では決して見ることのできない庶民の姿だ。

中国には、百年、二百年前と変わらぬ姿を留めてい

る古い町や村、城壁に囲まれた都城が現存している。もちろん今も人々の生活の場である。それを古鎮（こちん）、古村、古城と呼んでいるが、最近は中国人の国内観光の目玉になってきた。そこで、大都市近くのそれらの古鎮、古村はテーマパークのようになってきており、静かな風情は失われてきているのが残念だ。

今回は内陆部の安徽省の古鎮、古村、古城を紹介してみよう。

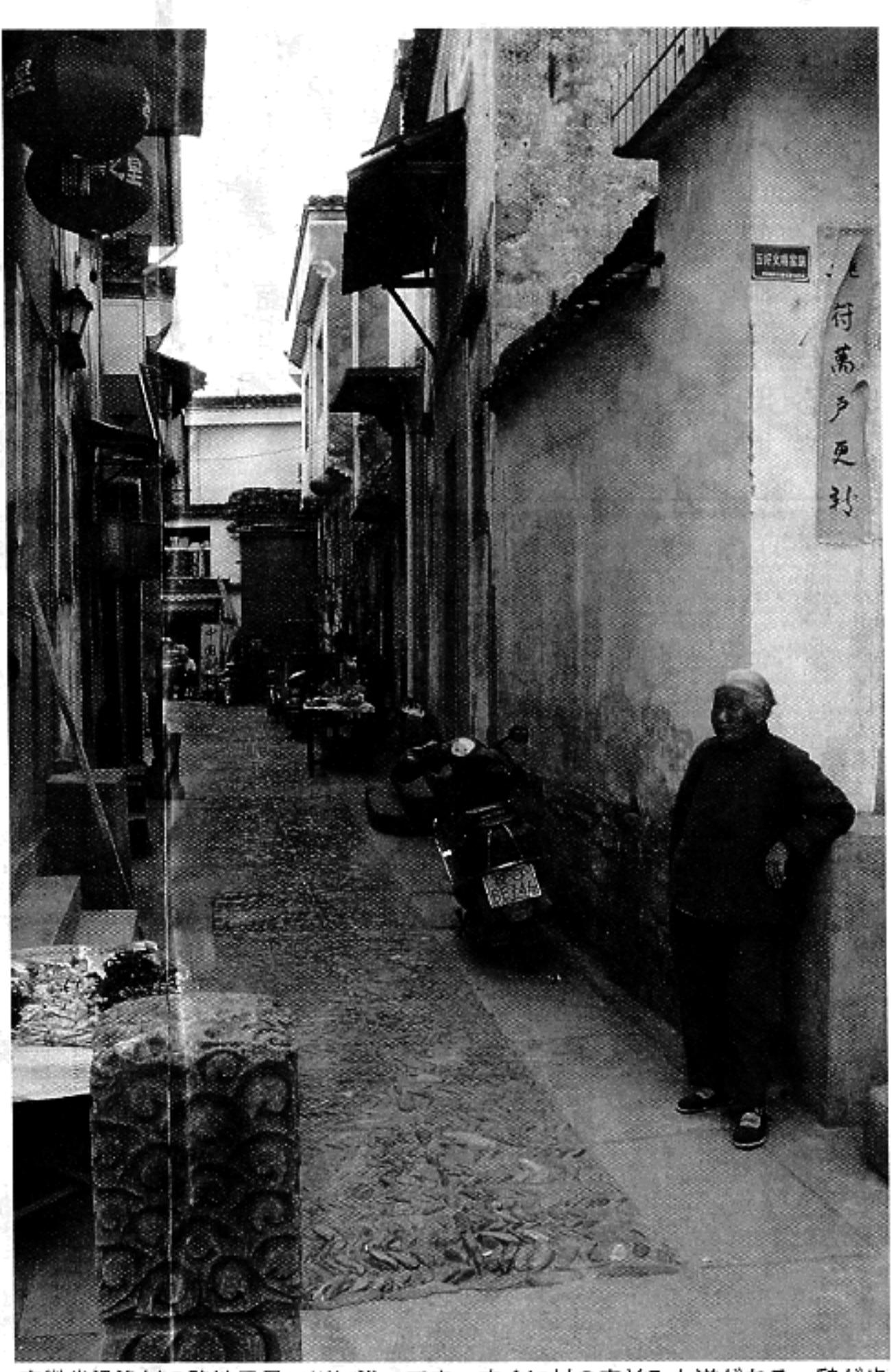
“江南の春”という言い方が昔からあるが、安徽省へ入るには長江（揚子江）の南に位置し、海に面した浙江省から入るのが通常である。

浙江省は中国のなかで日本と歴史的にいちばん因縁が深く古代から交流してきた土地である。古代は越（え）と呼ばれ、稻作はこの地を経由して日本に渡つてきたと考えられる。

古代から中世には、空海や最澄、そして道元といつた僧侶たちは、この地を介して日本に新しい哲学宗教を請來した。その玄関口となつたのは寧波（ニンポー）の港だった。

その西にある紹興の町は紹興酒で有名だが、古代越国の首都として紀元前四九〇年に建設され、吳越の戦いの舞台であり越王勾踐の「臥薪嘗胆」の故事で名高い。省都の杭州市は二千二百年以上の歴史ある町で、五代の吳越、そして華麗な文化を誇った南宋の首都でもあった。浙江省はこれらの町が示すように豊かな経済力と美しい自然、そして高い文化の三拍子を備えた土地である。とくに日本の禅文化のふる里といえるところで日本から多くの留学僧が訪れたことは特筆に値する。

安徽省は、浙江省の西隣にある。



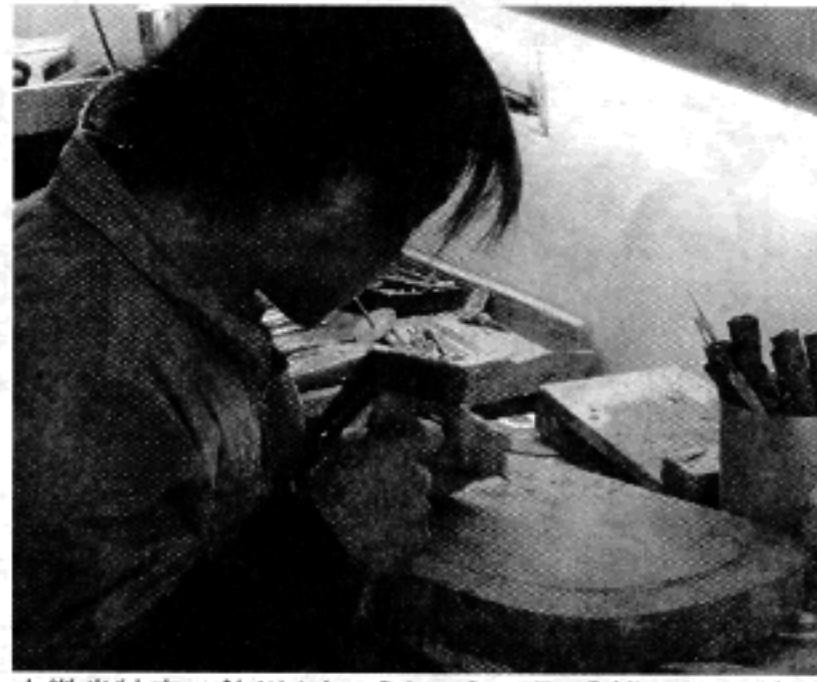
安徽省梁漁村の路地風景。川に沿ってまっすぐに村の家並みと道がある。鶴が歩き、犬が寝そべり、ゆっくりと時間が流れている。どの家々の玄関にも赤い紙におめでたい語句が達筆で書かれた聯（れん）というものが貼られている

弱者だという先入観があることをいいことに、なかにはとんでもない女性がたくさんいることも前提にしておく必要がある。電車の中で携帯電話を注意された女子大生が逆恨みして、痴漢として逮捕された事件がある。この男性はテレビに出て冤罪として裁判闘争しているが、女子大生もやましくなければテレビに堂々と出るべきだ。

〈2〉



浙江省から安徽省へ向かう山道。延々と続く菜の花畑はスケールが大きく壯觀。山々は頂上まで耕されて茶畑となつており、何気ない風景の中にも中国の歴史文化が宿つていて見飽きることがない



安徽省特産の歙州(きゆうじゅう)硯の製作風景。端溪と並ぶ硯の横綱で、町にいたるところに硯屋がある

この省を代表するものに水墨画の題材として名高い景勝の地「黄山」がある。雪の中にそびえ立つ奇岩怪石の山々に松の生える風景は、中国を代表するものだ。

人である曹操も実は安徽省の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけではないが、多くの山々は頂上まで耕されて茶畑に

けではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

また安徽省は明王朝を建

てた朱元璋が出たところだ

が、今なにかと話題の「三

國志」に登場する英雄の一

人である曹操も実は安徽省

の出身だ。

安徽省の南部は山国である。

安徽の山々は、そこを野を越えて山を越えるというような

山道で、時には深い谷底を

ぞき込むような難所もある。

とくに高い山があるわけ

ではないが、多くの山々

は、中国を代表するものだ。

*写真の図版は本文とは関係ありません



しかし、いつの時代に作られたレプリカなのに興味が沸く。

清朝時代はこのようなレプリカをわざわざ作る醉狂な時代ではない。古ければ唐時代、下つても明時代前期までに作られた物と推測している。

贋作として売るためではなく、副葬品として古にならつて作つた物だろう。なかなか良く出来ている。

(「鳥久」本店にて実物を展示中)

(妻の名)、再合せんことを
求む。

大公、水一盆を取りて
地に傾け、婦をして水を収
めしむ。惟其の泥を得たる
のみ。

《読み下し》

縁しようと言つた。当然ながら、必死になつて水をすくおうとしても泥しかすぐことができない。それを見て太公望は、「お前が復縁したいといつても、いつたんこぼれた水は二度と元には戻らないのだ」と元妻を突き放した。

呂尚の太公望という別名は、渭水で釣りをしていたところを文王が「これぞわが太公（祖父）が待ち望んでいた人物である」と言われ召し抱えられたといふ話に由来する、と言われている。日本では「太公望」といえば、釣り好き、釣

●太公望

離婚した夫婦は二度と元に戻らないという、本来の解釈から、今は、一度してしまったことは二度と取り返しがつかないと拡大解釈されている。

は能（よ）く離れ更に合わんとするも、覆水は定めて
収め難し。

この故事成語は、五胡十六国（三八七～四一七年）の後秦（こうしん）時代に王嘉によつて書かれた『拾遺記』からの出典。

同じ「鼎」でもこれらは四本足である。「方鼎」という。重さ八十キロ上。高さ87cm×口径61cm×61cm、堂とした大きさだ。右上写真の鼎よりく、紀元前十六~十七世紀頃、殷(商)前期の物。どちらの「鼎」にも側面鑿(ちく)紋(もん)とてつもん)という幾何

2000-01

この太公望、実在の人物であることはわかつてゐるのだが、その実態は謎に包まれている。ただ、大公望の呂氏はその後齊国の大田（でん）氏へとつながり、孟嘗君（もうしようく）の語源となつた

紋が彫られている。その意味は定かではないが、祭器としての意味合いが強いことから、邪氣をはらうという意味が、そこに込められたいのはずである。余談だが、この蟹蟹紋、現代の技術をもつてしても復元不可能とのこと。古代技術に脱帽である。

10

A black and white photograph focusing on the lower legs and hooves of a horse. The horse is dark-colored, possibly black or dark brown, and is standing on a light-colored, possibly sandy or reflective, surface. The lighting highlights the texture of the horse's coat and the form of its legs. The background is out of focus, showing some vertical lines that might be trees or poles.

昌光氏の著作『太公望』を読むといいだろう。同氏は「呂尚」を七十歳の老人ではなく、少年「望」として描いている。中国古代を舞台に繰り広げられた太公望の人生を、テンポよく描ききつた名著である。

現代に通じる人間学

中国 古代の 故事

「覆水盆に返らず」
ふくすいぼんにかえらず

中国の青銅器「鼎(てい)」
中國で青銅器の製作が始まったのは、紀元前二十世紀頃（夏時代）とそれでいて、
青銅とは、銅を主成分として、錫(すず)、鉛(なまり)などを添加した合金。青緑色(緑青)に腐食している場合が殆どだが、元は光り輝いていた。(日本人にとって一番身近な青銅は十円玉！)

この青銅器は「鼎」という。鼎は三木の足といつての把手（とつて）をもつて容器で、殷（商）後期、十三世紀頃のもの、祭りに供える肉、魚、穀物などを煮る容器で、古代中国で、國家の君主や大臣などの権力の象徴として用いられ、もつとも重要な器種とされている。

が、中国では、「太公釣魚」といい、「人を引っ掛ける」や「下手の横好き」といったあまり良くない意味の使われ方もするようだ。

田單といった名だたる兵法の軍師へとつながっていくことから、太公望の「戦わずして勝つ」という戦略に重きを置く精神が、「孫子の兵法」に受け継がれたと



中国の青銅器「鼎(てい)」
中國で青銅器の製作が始まったのは、紀元前二十世紀頃（夏時代）とそれでいて、
青銅とは、銅を主成分として、錫(すず)、鉛(なまり)などを添加した合金。青緑色(緑青)に腐食している場合が殆どだが、元は光り輝いていた。(日本人にとって一番身近な青銅は十円玉！)

この青銅器は「鼎」という。鼎は三木の足といつての把手（とつて）をもつて容器で、殷（商）後期、十三世紀頃のもの、祭りに供える肉、魚、穀物などを煮る容器で、古代中国で、國家の君主や大臣などの権力の象徴として用いられ、もつとも重要な器種とされている。

【訳】
湖州田園
地塘春草
黄花爛漫
烟霞陽光
湖州春節賦
豊かな水に恵まれた湖州は、田園の緑がどこまでも広がり、無数に見られる大春の名もない花や草が風に揺らめいている。

【訳】
江西虹閣村賦
山ひだを深く縫うように
古樟古村
白壁黒蔓
紫光寶墨
香山翠谷

【訳】
湖州春節賦
まるで鏡のよう波穩や
かに杭州の町を映し出す美
しい西湖の風情。
江南に春が来ると木々は
豊かにさまざま緑に溢
れ、キラキラと輝いている。
さわやかな風は、茶畠の
香りを運んで来るようだま
ことに芳しい。
かつて栄華を誇った南宋
の高雅優美な文化の香りに
も似ているよう、心が浮
き立つような華やかさを覺
える。

【訳】
湖州春節賦
まるで鏡のよう波穩や
かに杭州の町を映し出す美
しい西湖の風情。
江南に春が来ると木々は
豊かにさまざま緑に溢
れ、キラキラと輝いている。
さわやかな風は、茶畠の
香りを運んで来るようだま
ことに芳しい。

【訳】
河水長流
柳色盈村
石畳小径
吉祥朱聯
徽州梁漁村賦
緑が萌える山合いの谷を
悠々と流れる河の水。
春の滴るような翡翠色を
した柳の緑を川面に映し、
小さな川沿いの村は幸せの
緑の中に埋もれている。
流れに沿つて小さな家々
が肩を寄せ合つて並び建
ち、細く狭い石畳の小路が
その中を貫いている。どの
家の入口にも赤い紙に幸せ
を呼ぶ吉祥の詩が墨で黒々
と書かれている。

【訳】
河水長流
柳色盈村
石畳小径
吉祥朱聯
徽州梁漁村賦
かつてこの村は墨造りの
村だった。最高の墨は紫色
がかつた黒色だというか、
周囲の山々の空気は、そん
な高貴な趣きが感じられ
た。聳え立つ卯建や軒飾り。
かかる漆喰壁に黒瓦をのせ
た民家は迷路のような路地
の中にある。そして大きく
ひだりの古い村がある。

【訳】
水鏡西湖
光暉綠翠
薰風茶香
南宋遺芳
杭州春來賦

【訳】
水鏡西湖
光暉綠翠
薰風茶香
南宋遺芳
杭州春來賦
でモヤがかかたように、
雲か霞か、あたり一面に柔
らかな春の光に包まれたの
どかな風景が広がる。
それが晴れると、目にも
鮮やかな菜の花の黄色が飛
び込んでくる。

【中国】

四字漢字詩 東天光

江南の春を賞でる

私たちの日頃の身の回り品にはすでに中国製品が溢れています。衣食をはじめ国産高級車ですら中国で組み立てられた逆輸入車の時代です。二十年前に誰が今日の状況を予想したでしょうか。この勢いはしばらく止まらないでしょう。日本経済はまだまだアメリカ頼みとはいっても、すでに中国の勢いの今後は考えられないほど深い関係になっています。

しかし、文化となるとどうほど中国のことを探りたい。文化を知ることは歴史を知ることから始まります。中国を知ることとは実は日本そのものを知ることにつながります。二十一世紀は脱欧米の始まりであります。

中国を知ることとはどうほど中国のことを私たちは知っているのでしょうか。文化を知ることは歴史を知ることから始まります。中国を知ることとは実は日本そのものを知ることにつながります。二十一世紀は脱欧米の始まりであります。

毎日が作りたて!! ひと味ちがう、うなぎです

〒144-0051
大田区西蒲田7-68-1グランデュオ西館B1(旧サンカマタ)
TEL 03-5713-6153

日通旅行 NIPPON EXPRESS

日本通運株式会社 首都圏旅行支店
tel : 03-6251-6351 fax : 03-6251-6361
e-mail : tea-masuda@nittsu.co.jp
〒105-8322 東京都港区東新橋1丁目9番地3号 日通本社ビル18階

Hamada Dental Clinic

はまだ歯科診療所

医療法人社団 亮和会 はまだ歯科診療所 理事長 浜田亮太
〒143-0016 東京都大田区大森北6-28-6-2F TEL 03-3768-9614
診療時間 月~金曜日 AM10:00~PM1:30 / PM3:00~9:00
土曜日 AM10:00~PM1:30 / PM3:00~6:00
休診日 曜日・祝祭日

KEIHIN TENT

株式会社 京浜テント

〒144-0052 大田区蒲田1-8-14 インテリア・ショーケース
TEL 3733-3561 Fax 3738-7110 ブラインド 床 鉄骨金物
URL : http://www.keihintent.co.jp その他・シート カバー 旗 幕 装飾
Email : info@keihintent.co.jp

リフォーム&看板 事業部 快適空間

至品川 本店
からたつ
JR蒲田駅
至横浜 東口店

<http://www.torikyu.co.jp/>

ほっ 安心をお届けします
ほっ 充実した人生をお届けします
ほっ お気軽にご相談下さい

保険バンク ほっ
〒144-0052 東京都大田区蒲田4-47-5 第2石井ビル5F
有限会社 保険バンク 代表 八木 克昌
TEL. 03-5713-0033 FAX. 03-5713-0222
e-mail:yagi@insbank.co.jp

saki 太崎会計事務所

〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-4-15 東邦本社ビル5F
TEL.03-5480-4561 FAX.03-5480-4561
HP <http://www.osakikaikei.co.jp/>

代 表 太崎 正博
業務内容 会社設立 月次監査 会社決算申告個人申告
事業計画 企業・組織再編

創業昭和3年鳥専門の弁当屋

浦 田 **久**

東口店 大田区蒲田 5-16-1
TEL 03-3738-5736
営業時間 7時~20時(売り切れ閉店)

羽田名物 桜山せん巻い

本店 羽田 4-22-10
羽田空港通り
売店 穴守神社前
電話 羽田 3741 1074

鳥久本店 大田区蒲田 1-8-12
TEL 03-3731-5888 (配達受付)
営業時間 6時30分~18時(売り切れ閉店)

惣菜からたつ 本店横
TEL 03-3732-2415
営業時間 10時30分~19時30分
(売り切れ閉店)